

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	多機能型通所支援事業所クローバービーンズ		
○保護者評価実施期間	R7年1月27日 ~ R7年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R7年1月27日 ~ R7年2月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が多く安全な医療的ケアができる。	日々、お渡ししている連絡帳が写真付きで利用中の利用者の様子が分かりやすい。	療育の質を上げるために更なる研修を行う。
2	家庭では出来ない体験が出来る。（お出掛け、イベントの充実）	2か月に1回、緊急時対応シミュレーション、避難訓練を行っている。発電機や、非常用の食品の備蓄。	緊急時対応シミュレーション避難訓練に加え、交通安全教室を実施し、交通ルールを学び、安全に対する意識を育てる。
3	保護者の介護負担軽減のため入浴を行っている。	ビーンズ便りやSNS等を活用して、1カ月のスケジュールの見通しを分かりやすくしたり利用時の様子や出来事を発信している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アセスメントをしたうえでの個人個人に合った療育の提供が課題。	重心対応施設であったため医療的ケアが主になっていて、個人々の課題を療育に結びつける事が難しい。	経験ある方からのアドバイス他社の見学等実施している。
2	地域で、他の子どもとの活動ある機会が少ない。	平日の利用日には、登所後入浴や注入等があり、すぐに帰宅の時間になってしまふ。	土曜日や長期休みの際に、地域の子ども達と関わる機会を作るため、地域の学校との連携活動を行っていく必要がある。
3	余暇活動の充実が難しい。	平日は利用時間が少なく、土曜や長期休みの日は人員や利用者の状態によって、お出掛けや遊び等利用者が楽しめる活動の提供が難しい事がある。	人員数の見直しや職員の質の向上、個々が楽しめる事やものの提供、更なるイベントや行事の開催。